



図書館だより 5月号

2026年5月発行 江南市立西部中学校 図書館司書 木本規志子



西中の図書館へようこそ！！

オリエンテーションを終えて、全校の図書館利用が始まりました。1年生の皆さんは、オリエンテーションで紹介した小学校になかった本を是非、手にとってみてください。2・3年生の皆さんは、1年生の時、渡した個人カードを紛失していませんか？ 個人カードは再発行できます。図書館で申し出てください。

今月は修学旅行、体育祭などの大きな行事があります。図書館にも体育祭の元気な掛け声練習の声が届いてきます。過ごしやすい季節ですが、一方で疲れが出やすい時期でもあります。体調管理に気を付けて、無理のないように学校生活を送ってください。図書館でホッとする時間をどうぞ。



子どもたちにもっと本を!との願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に始まりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日になりました。(読書推進協議会「子ども読書週間」紹介サイトより)

2026子ども読書週間の標語〈作者のことば〉

子どもの頃、祖父が営んでいた書店が好きでした。あの本たちが、ことばたちが、私の羽根となり未来を彩ってくれました。次は私が届ける番です。たくさんの本が子どもに届くよう、そしてそのことばが子どもたちの羽ばたく力となるよう願っています。(読書推進協議会「子ども読書週間」紹介サイトより)



未来への
おすすめ本



『ものすごい研究図鑑
—キミのなぜも世界を
変える!—』

Gakken



『大谷翔平—夢にフルスイング』
バックリー・ジュニア・ジェームズ著



『ヤバすぎる！
偉人の勉強やり方図鑑』
真山 知幸著

本屋大賞2026大賞決定！

2026年本屋大賞！

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ／著 日経BP

(出版社内容紹介より)

入荷予定



あるアイドルグループの運営に参画することになった家族と離れて暮らす男。内向的で繊細な気質ゆえ積み重なる心労を癒やしたい大学生。仲間と楽しく舞台俳優を応援していたが、とある報道で状況が一変する女。ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側——世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す小説。

2位



『熟柿』

佐藤 正午 (著)

深い孤独と絶望を抱える母親の物語。

3位

入荷予定



『PRIZE』

村山 由佳 (著)

賞 (prize) という榮譽を獐犇に追い求める作家の破壊的な情熱がほとばしる衝撃作。

4位

入荷予定



『エピクロスの処方箋』

夏川 草介 (著)

「医療では、人は救えないんだよ。」現役医師が描く、人の命と幸福について深く考察する作品。

5位

入荷予定



『暁星』

湊 かなえ (著)

「ただ星を守りたかっただけ。」現代の宗教や家族の影響を描いた感動的な物語。

(出版社内容紹介より)

その他の新着予定本！

*皆さんからのリクエスト本など30冊ほど入ります。

貸出準備が整い次第、カウンター横の棚に並べます。



『あrika』

瀬尾 まいこ (著)

本屋大賞7位



『探偵小石は恋しない』

森 バジル (著)

本屋大賞8位



『コード・ブルー・ドクターヘリ緊急救命・特別編』

もう一つの戦場

時田 陽平 (著)



『古都琴子は好きに生きるの、あしからず』

汐見 夏衛 (著)